

よく喋る。
マイナー、
20年連続
20回出演。

Matsumoto Hiro Solo Live 2019

松本ヒロソロライブ



じつせい
しゅうねん

20th Anniversary

20周年

2019.6.22sat

19:00開演 18:30開場
山口市民会館 小ホール

〒753-0074 山口市中央2丁目5番1号 tel.083-923-1000

チケット料金：全席指定・未就学児入場不可
一般2,500円 / こどもステーション山口会員1,800円
いずれも残席がある場合のみ当日券発売 各500円UP
チケット発売：5月8日(水) 10:00～

託児サービス：1人700円、2人目より500円 6月13日(木)までに要予約。
プレイガイド：こどもステーション山口事務局・山口市民会館・
山口情報芸術センター・CS赤れんが・山口井筒屋
接援：山口市教育委員会

主催・問合せ：こどもステーション山口事務局
〒753-0047 山口市道場門前2-4-20 国政ビル2F
Open：月～金10:00～17:00 Tel/Fax083-925-1486
e-mail：co26station@yahoo.co.jp
<http://kodomo-st.org/>

正しい正気 笑っているため に、笑って

Matsumoto Hiro
Solo Live 2019

20th Anniversary

身体は正直です。身体が欲するものを
欲するだけ食べていたら
健康が保たれる、というのが理想。
本来はそうあるべき。

正しく判断する脳と、
脳に正しく報告する五感があれば、
という条件付きで。

脳と体の乖離、ちぐはぐで精神が病む。
ポロポロになってる体の声に耳を傾けないで
狂った脳がまやかしの祭り気分で麻痺させて
さらに体を痛めつけてるようにならぬ今の日本。

つい最近もこんなことあったよなあ、デジャヴ。
痛い、だるい、息がしづらい、という声を上げ続けるしかない。
五感が麻痺したら終わり。

早めに気付くのは芸能の民の役割だと思う。
だって実際痛いんだから。

麻痺の自覚が遠のいて
危うい未来を引き寄せる責任の一端がみなにある。
まずは笑って重苦しさから解放されて、正気の脳を取り戻さなければ。
戦争の最初から最後まで見届けてきた大先輩が教えてくれたことを
ヒロさんが引き継ぎ後輩へつなぐ。

痛い目にあつた原因を探ってどうしたら踏みとどまることができるのか。
感情的じゃなく日常の地続きでユーモアを湛えながら、
ときに鋭く、ときに柔らかく、問われる表現。
そして、ときに崩れ落ちそうになる精神を
叱咤激励していく役割は、お客さんだよ。

満産業(笑いライブプロデュース)/木村万里
2019年3月「松元ヒロひとり立ち」in 紀伊國屋ホール チラシより引用

【松元ヒロ：プロフィール】

- 1952年 鹿児島に生まれる。
- 1969年 鹿児島実業高校在学中、全国高校駅伝で区代表。
- 1975年 法政大学在学中に陸上の道から笑の道へ。
本業後、再び笑ってパントマイマーに。
その後、よく喋るマイマーとしてお笑いの道へ。
- 1985年 NTV「お笑いスター誕生」で優勝。(笑パーティー)
- 1988年 (ザ・ニュースペーパー)の構成に参加、歌謡風刺の世界へ。
- 1998年 (ザ・ニュースペーパー)を退職し、ソロ活動開始。
- 1999年 渋谷ジャンジャンにて46才のソロデビュー。
"スタンダップ コミック"での公演活動に入る。
- 2005年 「立川談本 日本の笑話百選」(NHKBS2)に選ばれる。
- 2007年 TBSラジオ「永六輔その新世界」の「土曜ワイド演説大賞」受賞。
- 2000~09年 立川志の輔師匠の「笑の城らくご」に毎月ゲスト出演。
- 2008年~ソロライブ「ひとり立ち」を春と秋、定期的に続けている。
- 2013年~「週刊金曜日」に隔週で「平日記」(エッセイ)を掲載中。
- 2016年 絵本「憲法くん」(作:松元ヒロ・絵:武田英樹・講談社)を出版。
- 2018年 NHK Eテレ「にほんごであそぼ コンサート in 出版」出演。

ヒロポンの会/松元ヒロ公開ウェブサイト
<http://www.winterdesign.net/hiropon/>

